

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470501212	事業の開始年月日	平成18年1月1日	
		指定年月日	平成18年1月1日	
法人名	ミモザ株式会社			
事業所名	ミモザ横浜永田北			
所在地	(232-0071) 神奈川県横浜市南区永田北2-16-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年2月20日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月6日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・毎日の環境整備に力を入れ清潔な環境を保ち、気持ちよく生活して頂き、外気浴や散歩をすることで外の空気や季節感を感じとって頂く。地域の方々とも交流している。・職員とご利用者が一緒による手作りの家庭的な食事を提供、食事による色彩りや季節感なども味わって頂く。献立には気を配り、栄養面でも十分な配慮をしている。</p> <p>・毎日のバイタルチェック・口腔ケアなど健康管理に留意しその方にあったケアプランをもとにした個別ケアを実施している。・地域の方々とのネットワークを大切にしている、また夜間の防災訓練に取り組んでいる。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク 神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年3月18日	評価機関 評価決定日	平成23年4月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】</p> <p>◇ 内科医、歯科医の往診の他、週1回歯科衛生士による口腔ケアが行われており、日課にしている食前体操と共に感染症の予防や食欲増進に寄与している。また、看護師であるセンター長の指導の基、健康管理と衛生管理、環境整備が行き届いており、日常の健康管理と清潔な環境での生活が、利用者の安心感につながっている。</p> <p>◇年2 回行っている利用者満足度の調査結果を献立に反映し、食材を近隣の商店で調達して、スタッフ手作りの食事を提供しており、利用者の満足度が高い。利用者は、スタッフと共に食事の用意や後片付けをしている。</p> <p>【事業所の工夫している点】</p> <p>◇自治会を始め民生委員や消防団の協力を得、利用者も参加して夜間の避難訓練を行っている。訓練に際し、拡声器やヘッドランプも有効に活用して利用者を誘導している。</p> <p>◇余暇には、音楽教室や習字教室を楽しんでもらい、回想法を取り入れるなど、自立支援を目指した支援が、利用者の生活に張りを持たせている。</p> <p>◇日常の献立に、七草粥や柚子のかぶ漬けなど季節感のあるものや、おはぎなどを加えて変化を持たせ、時には、外食に出かけて食事を楽しんでいる。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ミモザ横浜永田北
ユニット名	さくら壺番館

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念はいつでも見られるように掲げてある。またスタッフ会議、ケアカンファレンスなどを活用し、理念の共有を行っている。	・「笑顔、声掛け、温もりのあるホーム」の運営理念を1階、2階に掲示して、会議でその都度、職員が利用者の立場になって、理念をサービスに活かしているかを確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開所時より町内会に加入しており、防災訓練・運動会・お祭り等に参加。子供会とも七夕や新年会などで交流している。	・食材、身の回り品の買物は近所の商店を利用し、地域との交流を図っている。 ・地元の行事である「助郷祭り」にはミモザ専用の席を用意してくれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を年6回行っており、情報交換等のまた問題協力を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の実施で安心ネットワークへの協力や防災訓練についての助言を頂いている。	・会議には、家族代表、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員が出席して2か月毎に開催している。 ・事業所の活動状況、行事等に対し、出席者からコメントを得て対応している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	わからないことは市町村に対し相談をしたり、助言を頂き協力関係を築いている。	・区生活保護課の職員とは、利用者の入退所などで日頃から連携を密にしている。 ・事業所で決めた災害時の避難場所を、消防署に認めて貰うためにアドバイスを頂いた。	

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員に対し研修を行い、身体拘束は絶対しないよう努めている。又、マニュアルもある。	・職員は内部の研修を受講し、外部の研修会にも参加している。 ・普段何気なく行っていることが身体拘束に当たらないか、職員同士でチェックし合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待は絶対しないよう努めている。スタッフは研修に参加し、スタッフ会議でも報告をする。再三勉強会も開催している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人について研修会がある。又、必要のある方については説明し支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や重要事項説明書等で、十分に説明をし納得したうえで署名をして頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や家族会で意見・苦情・助言がある場合はその都度受入れ、運営に反映させている。また目安箱を設置している。	・家族会を、1月と7月の年2回に開催し、行政に提出する書類の作成を手伝うなど家族の依頼や要望に応じている。また、家族の依頼で、フランス料理の食事会を年2回に変更した事例もある、	

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議の中で職員の意見交換を行うことができている。また日々の申し送りの中でもできている。その他いつでもセンター長や管理者に意見が言える状況である。	・月1回のスタッフ会議は、夜勤者も参加できるよう朝開催し、提出された職員の意見を運営に反映している。 ・新人教育、フォローアップ研修を全員で行うとの提案があり実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格修得を奨励し向上心・やりがいを持てるよう努めている。また個々の生活変化に応じ、勤務状況・その他の希望に応じている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修・講習会などに参加することで職員の能力向上に努めている。またミモザでの管理者研修・エルダー研修・ターミナル研修にも取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会に加入しているので交換実習を定期的に行うことで情報交換をすることができサービスの質を向上させている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用様とのコミュニケーションを常にとり、困っていることや要望を聞くようにしている。安心を確保する為信頼関係を大切にしている。またアンケート調査でもご利用様様の希望を聞いている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期にはご家族が不安な事があるので、ご利用者様の様子などを伝え安心して頂き、要望などもお聞きしている。ご家族と信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が必要としていることをよく見極めその上でより良いサービスの提供ができるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にすることを大切にし、一緒に掃除、洗い物、洗濯たたみを行い、信頼関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた時や家族会などで近況報告をしている。ご利用者様と一緒に支えていけるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室には馴染みの家具や写真を置いている。面会は自由に来ていただき訪問しやすい雰囲気を作り、場所を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が知人や友人とのつながりを継続できるように、手紙を書くことを支援している。 ・東京出身の利用者が昔を懐かしみ、家族同伴で浅草の三社祭りに出かけた事例もある。 	

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立させないようご利用者同士を交流できるよう支援している。塗り絵・トランプ・歌など職員が介入し支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて家族が安心できるよう、経過を把握している。所長・管理者は相談に応じる支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランやアンケート調査を行い、その方の意向を聞き希望にそったケアを実践している。	・食事、外出、入浴などの満足度調査を行い、利用者の意向に沿ったケアに努めている。 ・職員は、毎日の生活の中から利用者の思いや、希望を把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者の生活習慣を把握し、これまでの生活を続けられるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活ペースを乱すことなく、心身状態で“できることはやって頂く。”を見極め、日々の身守りをするよう努めている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者とスタッフで定期的にケアカンファレンスを行い家族に常に本人の状況などを説明して話し合い、計画作成とモニタリングを実施し、ケアプランに活かしている。	・ケアカンファレンスで介護計画を作成している。家族の意見や要望は、面会時や電話で話し合い介護計画に反映している。 ・介護計画は3か月毎に見直し、状況の変化に応じてその都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化や気付いたことを細かに記録し健康状態の把握・QOLの低下防止に努める為申送りや連絡帳やカンファレンスを行い、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族に認知症の理解や対応の仕方についての相談に応じ、また資料を用意し渡し柔軟な支援やサービスを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の夏祭り・運動会・防災訓練・七夕まつり・子供会公園掃除、地域行事へ参加し、地域との交流を大切にして、安心して暮らして頂けるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月一回の内科往診、月二回の歯科往診、週一回の歯科衛生士さんの口腔ケアで、ご利用者が適切な医療が受けられ、またかかりつけ医も導入し適切な医療を受けられるよう支援しています。	・家族の希望で従来のかかりつけ医に受診する利用者もいるが、大半は事業所の協力医と契約している。 ・内科医、歯科医、歯科衛生士の往診がある。センター長が看護師であり、健康管理が行き届いている。	

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	センター長が看護師の為、健康管理や相談が常にでき、助言を受けることができる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と常に連携をもち、一緒に面会の時間を作り、ご利用者の病状を把握し病院関係者との情報交換・早期退院ができるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナル研修を行っており、ミモザとして、方針を検討している。方向性としては、医療連携の導入を検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアの前提として、医療連携体制加算の導入を検討している。 ・ターミナルケアの研修を行っており、看取りの体制はできているが、まだ実例はない。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は定期的な研修を行い、対応の訓練にあたり緊急時すぐ対応できるよう実践力を身につける。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年三回防災訓練を実施し夜間に夜間訓練を実施し、地域（自治会）との協力体制を築いている。その都度ご利用者の身体状況に合わせて見直しを行っている。また夜勤者が自主点検を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や民生委員、消防団などの協力を得て、利用者も参加して夜間の避難訓練を実施している。 ・訓練の実施に当たり、自治会長、消防団の協力を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携体制を更に強化ために、緊急に備えて自治会、消防団などとの連絡網を作成されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者はおお客様であることを忘れずに個人情報・プライバシーを保護し配慮するよう努めている。また研修を行っている。特に排泄時プライバシーを損なわぬよう対応と声かけを実施しています。	・人生の先輩として利用者を尊重し、利用者の意向を聞き、自己決定できる言葉掛けを心がけている ・個人情報の書類は事務所ロッカーに施錠して保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の話には常に耳を傾け、自己決定が出来るように支援を働きかけている。特に外出時自分の好きな洋服を選んでもらったり、また日常生活の中で自己の決定できる場面を作る等支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご利用者の身体状況を把握し、その方に添った日課の提供・食事・散歩などを個々に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出や入浴時には本人の希望する洋服を用意し、また季節に応じた身だしなみの提供が出来るよに支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年二回の嗜好調査を行いご利用者の希望に添えるよう努力し、年に一・二回の栄養師さんによる栄養調査を行い、助言を頂いている。	・利用者ごとの嗜好調査を基に、献立、栄養管理、食材を調達し、彩りなどの面でも食欲を誘うように工夫している。 ・利用者は、配膳下膳を手伝っている。	

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事・水分摂取を記録しており、ご利用者に合わせた食事量・好みの物を提供している。またバランス・栄養を考えた食事と栄養士の指導も受けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、週一回歯科衛生士の指導を受けている。月二回の歯科往診にて、虫歯の早期発見と治療を行い又、感染症・誤嚥性肺炎の予防にもなっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握しトイレで排泄ができるよう時間誘導し、できることは自分で行き自立に向けた支援を行っている。	・個々に合った時間誘導をすることにより失敗がなくなった利用者がいる。 ・可能な範囲で自立できるように見守り、失敗したときは、さりげなくトイレに誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維・水分摂取の配慮を行い、適度の運動・散歩をし、自然排便ができるように支援している。また便秘が続く時は医師から緩下剤を処方してもらっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者の希望に添った湯温の設定・同性介護を行っている。また入浴を楽しめるよう季節に応じて、ゆず湯・菖蒲湯など取入れている。	・入浴は週2回午前10時から12時までとしているが、希望があれば午後の入浴にも対応している。 ・ゆず湯やせり、菖蒲湯など香りを楽しんだり、好きな歌を歌ってくつろぐ利用者もいる。	

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に応じて午後からは休息できる時間を持ち、リネン交換を行い清潔を保ち、気持ちよく安眠ができる支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的・副作用や用量を把握し、症状の変化を確認し正確に服薬できるよう支援している。また申送り・業務日誌に記載・状況応じた対応に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事やレクリエーションへの参加を促している。食事の準備・後片付けなどの役割をもって、また日々生きがいをもって生活できるよう援助している。また買い物へ行き気分転換ができるよう支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気のいい日には外気浴や散歩や買い物へ出かけ、外出する機会を設ける支援を行っている。	・天気の良い日は、事業所の周辺や近くの公園を、その日の体調に合わせて散歩している。 ・フランス料理の外食を今年度は2回に増やし事業所の車で出かけ楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や必要に応じてスタッフが購入したり、一緒に買い物に行ったりする		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人に手紙を出したり、交流が深められるよう支援し、電話は本人の希望と相手側の状況を考慮した上行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間・廊下・居間・台所・食堂・浴室・トイレ等を清潔に保ち、季節合った室温、湿度、季節感あふれる花を飾ったり、物置をしつらえ気持ち良く生活できるよう工夫している。	・玄関前のプランターに季節の花が咲いており、リビングにはお雛様を、壁には行事の写真や利用者の作品を飾っている。 ・リビングは、温度・湿度が管理され、異臭もなく清掃が行き届いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者が自分流に孤立しないよう思い思いに過ごせるよう支援している。気の合ったホームメイト同士でトランプ・かるた・百人一首等できるよう支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地よく過ごせるよう、馴染みのもの・大切にしているものを置き、その方が安心して過ごせる部屋の工夫をしている。	・使い慣れた鏡台やタンスの他、仏壇を持ち込み、時計やカレンダーを置くなど、利用者ごとの生活空間になっている。人気歌手のポスターを貼っている利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段・廊下・トイレ・リビングには手すりを付け、バリアフリーである。居室には表札をかけ、自分の部屋が分かるようにしている。トイレ・浴室・エレベーターにはナースコールを設置し、自立した生活がおくれるようにしている。		

事業所名	ミモザ横浜永田北
ユニット名	さくら式番館

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づくサービスの提供を行っており、理念の共有はスタッフ会議・ケアカンファレンスで話し合い共有している。理念はいつでも見られるように掲げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、防災訓練・運動会・公園清掃・お祭りに参加し、子供会では七夕・新年会の交流を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所で行う研修は、地域の方や家族会等で参加を呼びかけ地域貢献に活かしている。（認知症の理解と支援・救急救命講習会等）		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回実施している。安心ネットワークへの協力、防災訓練の避難場所の助言を頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村と介護ケアや運営についてわからないことがある時は相談したり、安心ネットワークでは助言を頂き協力関係を築いている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践を行うよう職員の研修を行っている。身体拘束防止のマニュアルがある。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加してスタッフ会議で報告し話し合い、虐待は絶対しないよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフに社会福祉士がおり、権利擁護や成年後見人の研修会を行っている。又、親族の面会時必要のある方については説明し支援している。又、推進会議でも話題に乗せている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書及び重要事項説明書等で説明を行い納得した上で署名をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に意見や苦情・助言を受け入れ、事業所の運営に活かし反映されている。目安箱を設置している。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議や申し送りの中で意見交換を行っている。又、職員がセンター長や管理者へ話しやすい状況を作り意見を反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が向上心を持って働けるよう資格所得を奨励し、勤務状況を把握し希望等を聞き職場環境の整備に取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や講習会は定期的に行われており職員の能力向上に努めている。管理者研修・エルダー研修・ターミナル研修等、ミモザでの研修も取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会に加入している。グループホームの交換実習を積極的に行い、情報交換をしサービスの質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者に困っていることや要望等を聞く機会を作りご利用者が安心を確保でき信頼関係を築くように努めている。又、アンケート調査を行いご利用者の希望を聞いている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期には特に本人の様子等を報告し困っていることや要望を受け止め家族との信頼関係を築くことができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族が望んでいることを見極め、サービスの提供ができるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者の培ってきたこと、食事作り、縫い物等を教えて頂きながら暮らしを共にして信頼関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には近況報告し状況によってはその都度連絡をしている。家族会や行事へ参加して頂き交流を深めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会は自由で、訪問しやすい雰囲気努め、場所を提供している。又、馴染みの家具や写真等を置いて支援に努めている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	音楽療法・習字・絵手紙・ゲーム等を行いご利用者同士が支え合い交流が持てるよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者の契約終了後もいつでも相談に応じ支援することをご家族に伝えている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアカンファレンスを開いたりアンケート調査を行い一人ひとりの思いや意向を尊重し希望に沿ったケアプランを作成し、かつ実践している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活習慣を把握し、ご利用者の以前の生活環境を踏まえながら改善できる所は時間をかけてできるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者個々の一日の生活ペースを崩さずに精神状況・健康状況を見極め日々見守っている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者・スタッフ間で定期的にケアカンファレンスを実施した上で家族にも常に本人の状況を伝え、話し合いに基づき計画作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態の変化や気付いた点について細かく記録し健康状態の把握・QOLの低下防止に役立てるため職員間での申し送りやカンファレンスに努め看護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族に認知症の理解を深めるための対応の仕方についても相談に応じ、又、そのための資料を用意し配布する等、柔軟な支援・サービスを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	夏祭り・運動会・防災訓練・子供会を招いての行事等、地域行事への参加も積極的に行い、安心して暮らして頂けるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に一度の内科往診・月に二度の歯科往診・週に一度の歯科衛生士による口腔ケアを実施し、ご利用者が適切な医療を受けられる体制を整えている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	センター長が看護師のため、健康管理や相談が常にできる体制となっており、適切な指示を仰ぐことができる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との連携を持ち、家族と一緒に面会の時間を設け、ご利用者の病状を把握し、病院関係者との情報交換、早期退院ができるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアの研修を社内で実施し、ミモザとしての方針を現在検討している。方向性としては、医療連携の導入を検討中である。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は定期的な研修を受け、対応の訓練にあたり、緊急時に備えたマニュアルを常時見られるようになっている。又、実践力を身に付けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回の防災訓練と夜間帯の災害に備えて夜勤者が適切に対応できるように地域の方々を交えての夜間訓練を夜間に実施している。又、夜勤者が自主点検を行っている。スプリンクラーの設置も完了している。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者はおお客様であることを常に意識し、個人情報・プライバシーの保護に配慮している。又、研修も行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の話に傾聴し相談や要望に添うようにし、自己決定が出来る場面を作ったり、出来るよう配慮した支援を行っている。(例・外出時洋服決定、髪カットの希望等)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のご利用者の身体状況を把握し、個人別のケアとして日課の提供・食事・散歩などのレクリエーションにも対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出や入浴時には本人の希望に添った洋服を用意し、季節に応じた身だしなみが出来るよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年に二回、嗜好調査を行いご利用者の希望に添えるように努めている。年に一、二回栄養師による献立内容の調査を行い、助言を頂いている。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の記録を行い、ご利用者に合わせた食事内容・食事量を考慮して提供している。栄養バランスを考えた食事内容と栄養士の指導も受けている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、週一回の歯科衛生士の指導・口腔ケアと月二回の歯科往診実施にて、虫歯の早期発見と治療を行い、感染症・誤嚥性肺炎の予防に役立っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレで排泄ができるよう時間誘導を行っている。自分でできる事は自分で行い、自立のための支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維・水分の摂取に配慮し、適度な運動・散歩を行い自然排便ができるよう支援している。又、便秘が続く時は医師から緩下剤を処方してもらう。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者の希望を配慮した湯温等で入浴介助を行っている。又、季節に応じてゆず湯・菖蒲湯なども取り入れ、入浴を楽しめるよう工夫している。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を考慮し、その方の健康状態をみながら休息する時間を設けている。定期的によりネット交換を行い清潔に保ち、安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的・副作用や用量を確認し、症状の変化や服薬内容の確認はその都度申し送りを行い、業務日誌に記載、状況に応じた対処に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事やレクリエーションへの参加を積極的に行い、掃除や配膳・下膳などの役割を持っている。又、買い物や外食会・ドライブ等気分転換のための支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には毎日外気浴を行い、一日一回は外の空気に触れて季節を感じて頂けるよう配慮している。又、一人ひとりの対応にて散歩や買い物へ出掛け、外出する機会を設けている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望に応じて職員が購入したり、又、同行し買い物に出掛け自分でお金を使い買い物をする事もある。		

ミモザ横浜永田北

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人に手紙を出したり、電話は本人の希望と相手の状況を考慮した上で行っている。常に家族や友人と交流が深められるよう配慮している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常時環境整備を行い、清潔感を保っている。又、部屋の明るさや室温調節に配慮し時季に合った装飾品を置いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	行事やレクリエーションでは自分の好きな位置を選んだり、気の合う同士と一緒に過ごせるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるように、大切にしている物を置いたり、飾ったりしてその方が安心して過ごせる工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段・廊下・トイレ・浴室・リビングには手すり、トイレ・浴室・エレベーターにはナースコールも設置されており安全面にも配慮が施されているため、各個人の残存機能を活かした生活が送れるように工夫されている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ミモザ横浜永田北

作成日 平成23年4月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3513	「災害対策」について、平成22年度に夜間避難訓練を実施したが、備品の購入・地域との連携・応援要請などが、今後の課題となった。	災害時、地域との連絡体制がとれるように、連絡網を作成する。	次期の運営推進会議にて、自治会長・民生委員・地域包括支援センター所長へ、避難場所・応援要請など、連絡がとれるように、連絡網の作成をお願いする。	平成23年4月 ～ 平成24年3月 まで
2					
3					
4					
5					